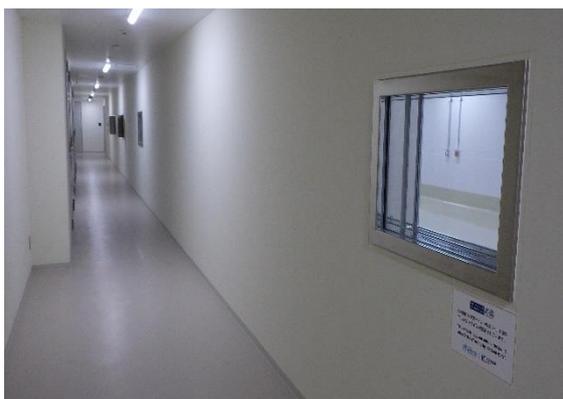


**長崎大学感染症共同研究拠点実験棟（BSL-4）に
関西ペイントの漆喰塗料が採用
自然素材・漆喰を活用した抗ウイルス技術が
世界最高レベルのウイルス実験施設の感染対策の一助に！**

関西ペイント株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：毛利 訓士）は、長崎大学（長崎県）が2021年7月30日に竣工した感染症共同研究拠点実験棟「BSL（バイオセーフティレベル）-4施設」の内装に当社の漆喰（しっくい）塗料が採用されたことを発表いたします。



当社では日本に古くから伝わる自然素材「漆喰（消石灰）」が持つ、抗菌・抗ウイルス・消臭などの多様な有効性に着目し、2007年に漆喰塗料の開発に成功しました。

長崎大学とは、漆喰塗料の抗ウイルス効果について、実証実験による検証を長年共同で行っており、2016年にインフルエンザをはじめ、タイプの異なる4種の病原ウイルスすべてが漆喰塗膜に接触すると感染力が低下することを確認。さらに2020年には新型コロナウイルスに対しても同塗膜に接触すると僅か5分で99.97%感染力が低減する事を確認しました。現在も当社の漆喰塗料技術を応用した様々な商材の抗ウイルス性に関して共同研究を続けています。

この度竣工しました長崎大学のBSL-4施設は、様々な感染症から社会を守り、社会の安全・安心を確保することを目的とした実験施設で、日本国内においては2か所目となります。感染症予防法やWHOの指針などにより設定され

た基準の中で最も厳しい基準がBSL-4です。長崎大学の施設においても耐震安全性の確保、「実験室バイオセーフティマニュアル」（WHO基準）を遵守した非常に厳密な安全対策を講じておられます。今回、BSL-4実験室回廊の壁の塗装に当社の漆喰塗料を採用していただく運びとなりました。同塗料の採用が、衛生環境の向上および実験者、地域住民の皆様の安心に少しでも貢献できればと考えております。

当社では引き続き長崎大学やその他の専門研究機関と連携し、新型コロナウイルスをはじめとする感染症への不安がない社会づくりに貢献してまいります。

■ 概要

採用場所：長崎大学 BSL-4 実験棟

（長崎市坂本 1-12-4 長崎大学坂本キャンパス 1 内）

採用製品：漆喰塗料

竣工日：2021 年 7 月 30 日

<長崎大学感染症共同拠点 安田 二郎 教授 コメント>

この度、長崎大学に竣工したBSL-4施設は世界最高レベルの安全対策がとられている感染症研究施設ですが、更に多重の安全対策を講じることにより、施設内で働く教職員やキャンパス周辺の住民の皆様の一層の安心につながると考えます。今回、BSL-4実験室回廊の壁の塗装に、短時間で強力なウイルス不活化作用を持つ漆喰塗料を採用したことで更に安心感が高まることを期待しています。

<BSL-4施設について>

BSL-4施設は、感染力、感染した場合の重篤性等から判断して、危険性が極めて高いと考えられる感染症の病原体を最も安全に取り扱うための設備を備え、かつ最も厳重な管理運営がなされる施設です。

WHO（世界保健機関）のマニュアルにおいてリスクグループ 4 に分類されるエボラウイルスやラッサウイルスなどの病原体を十分な管理のもと安全に取り扱うことができ、それらに対するワクチンや診断方法、治療薬、治療方法の開発などを行うことができます。現在、世界で24カ国・地域で、59カ所以上が設置されています（長崎大学HPより）。

<参考> 関西ペイントと長崎大学との共同研究

● インフルエンザなど 4 種類のウイルスに対する効果を実証（2016年）

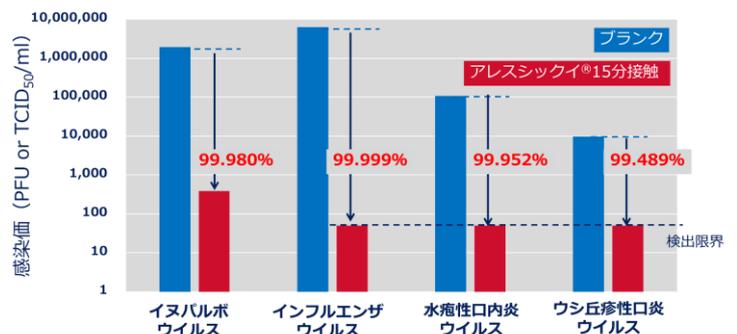
当社から研究員を長崎大学に派遣し、漆喰塗料による抗ウイルス効果の検証を行いました。その結果インフルエンザをはじめ、人の脅威となる 4 大ウイルスすべてに対して有効であるという結果が得られました。

4 種のウイルスタイプで実験

	ノンエンベロープウイルス	エンベロープウイルス		
ウイルス	イヌハルボウイルス (CPV)	インフルエンザウイルスH3N2 (IFV)	水痘性口内炎ウイルス* (VSV)	ウシ丘疹性口炎ウイルス (BPSV)
特徴 (選定理由)	一般的なノンエンベロープウイルス	ヒトに感染する最も身近なウイルス	感染力が強い	乾燥や消毒薬に強い
類似ウイルス	ノロウイルス ロタウイルス アデノウイルス ポリオウイルス	SARS・MERSコロナウイルス ヒト免疫不全ウイルス (HIV) エボラウイルス ジカウイルス		天然痘ウイルス ヘルペスウイルス

使用製品 漆喰塗料、
シックイ PET シート（1次加工製品）
実施年月 2015 年 10 月 - 2016 年 3 月
実施場所 長崎大学熱帯医学研究所
実施協力 同、安田二郎教授

漆喰塗料に触れることで、ウイルスの 99%以上が不活化



● 新型コロナウイルスに対する効果を実証（2020年）

漆喰塗料が新型コロナウイルスに対しても効果があるかどうかを確認するために実証実験を実施。その結果、当社の製品は新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)に対して 5 分で不活化することが判明しました。

*実験室での評価であり、商品や実使用環境での効果を示すものではありません。

【本件に関するお問い合わせ先】

関西ペイント販売株式会社 建築塗料販売本部 岩崎浩行
東京都大田区南六郷3丁目12-1 Tel : 03-5711-8904

【本件に関するメディアの皆様からのお問い合わせ先】

関西ペイント PR事務局（共同ピーアール株式会社内） 担当：富田、内山、高橋
Tel : 070-4303-7321（富田） e-mail: kansaipaint-pr@kyodo-pr.co.jp